

月刊『casabrutus』
Life Design Magazine
casabrutus.com

山の家で過ごすライフスタイルと
デザインのいいキャンプ道具100。

BRUTUS

Casa

8

2021 vol.256
AUGUST
¥990

groovisions 伊藤 弘さんの
山の家を訪ねました

Chill Out in Nature

自然と過ごす

スタイルブック

キャンプスタイルとアウトドアキア / あの人の山の家 / 焚き火術 / 野外調理術

2021年8月10日発行 7月10日印刷 発行所 casabrutus.com

〈カリモク家具〉の新しい木の家具

各国の気鋭のデザイナーたちと組んで新しい定番を
創造しつづける〈カリモクニュースタンダード〉。
その核には、高度な技術と未来を見極める目がある。



Castor Chair Plus Pad

キャストールチェア・プラス・パッド(2018)

Big-Game ビッグゲーム

ビッグゲームによる《キャストール》シリーズは、座面がやや広くパッド付きの椅子《キャストールチェア・プラス・パッド》をはじめ多くのタイプが揃う。60,500円。収納はビッグゲームの《プロップハイボード》(359,700円)。テーブルはクリスチャン・ハースの《スカウトビストロテーブル》(88,000円)。

Vol.4

Karimoku New Standard

カリモクニュースタンダード

ビッグゲーム スイス生まれのグ
レゴワール・ジャモノ、ベルギー
生まれのエルリック・プティ、フ
ランス生まれのオーギュスタン・
スコット・ドゥ・マルタンヴィル
が2004年にスイス・ローザンヌで
設立。「衝突こそ進化を生み出す」
というコンセプトで活動する。

1 伝統的なカフェチェアを参照し
て生まれた《キャストール》の椅
子のスケッチと模型。この椅子は
5脚までスタッキングが可能。2
ビッグゲームのスタジオ。正面に
座る3人は、著名なデザイン学校
「ECAL」の教師でもある。3 ダヴ
ィッド・グレットリのスタジオに
ある《KNS》製品。テーブルとス
ツールは《キャストール》、椅子
はゲッケラー・ミヘルスの《パノ
ラマアームチェア》。4 《KNS》の
デザインディレクターを2013年か
ら務めているグレットリ。



2	1
4	3



新世代のデザイナーと作る、新しいスタンダード。

《KNS》(カリモクニュースタンダード)が、木工家具の新コレクションとして始動したのは2009年。主に自社で製品開発を行ってきた《カリモク家具》は、それを機に海外のデザイナーと盛んにコラボレーションし始めた。ビッグネームに頼らず、新世代のデザイナーたちと一緒に未来を考えるのが当初からの《KNS》のスタンスだ。

スイスのデザインスタジオ、ビッグゲームは2010年からこのコレクションの製品を手がける中心的な存在だ。《KNS》のデザインディレクターであるダヴィッド・グレットリもスイス出身で、彼らは旧知の仲だという。

「彼ら3人は仕事に関して常にクリアな視点を保ち、シンプルで、知的で、機能的で、楽

しい問題解決を大切にします。そのデザインに共通するのは軽やかさと遊び心です」

ビッグゲームが2011年から手がける《キャストール》シリーズは彼らの家具の代表作であり、《KNS》の定番になっている。グレットリ自身もその椅子に親しんできた。

「普遍的でベーシックなデザインですが、丸や線の構成はプレイフル。一方でコンパクトでありながら人間工学を踏まえ、背もたれの位置や角度で座り心地を高めています」

現在、《キャストール》はツール、テーブル、ソファなどバリエーションが充実。また《KNS》の特徴として、国産広葉樹の小径木など有効活用されにくい材料を多用している。

デザイナーの起用に関してグレットリは、

相手が《カリモク家具》の技術と可能性を理解した上で、何を作りたいかを重視するという。メーカーの限界を押し広げるようなデザインを、《KNS》は求めているのだ。

「画期的なデザインに取り組むと必ず直面する数々の課題に対し、新しい解決策を見つけてくれる《カリモク家具》にはいつも感心しています。カリモクは家具作りのほとんどの工程を愛知県の工場で行っているのです」

これからも《KNS》は、新進気鋭のデザイナーと共に進化し発展していきだろうとグレットリは話す。一貫して目指すのは、日常生活のためのサステナブルでコンTEMPORARYな木の家具を更新し続けること。新しいスタンダードが、こうして生まれていく。